

30周年記念セミナー午後の実践

1. 友達を探す（視覚に注力）

大勢のいる限られた円の中、限られた視界でパートナーを探す。

- (1) ロープで大きな円を作り、そのロープの内側において全員で大きな円になり中心に向かって体を向く。
- (2) 目をつむり、両手を前に出しゆっくりと前進する。
- (3) 手と手が触れた二人がペアになる。
- (4) ロープの円の中でペアの片方が目をつむり、片方は円の中を*自由に移動する。
*複数の人が同時にいるため、他の人の影に隠れる等見つからないようにする。
- (5) 合図と同時に目をつむっていた人が片目を開け、その目に望遠鏡のように両手で筒を作り、ペアの相手を探す。
*ペアの相手は隠れたり逃げたり見つからないようにする。
- (6) 見つけたペアは輪の外に出る。



2. 蝙蝠と虫（聴覚を研ぎ澄ます）

蝙蝠役を虫役に分かれ、聴覚のみで相手を認識する。

(1) 8人程度でグループを作る。

(2) 1人が蝙蝠役となる。

(3) 蝙蝠役以外の人々が虫役となり、蝙蝠役の周りに*円になる。

*両手を広げた程度の円。

(4) 中心の蝙蝠役は目をつぶる。

(5) 中心の蝙蝠役が行った事を、周りの虫役は*同じことを行う。

*たとえば、蝙蝠役が手を叩けば虫役も手を叩き、声を出せば声を出す。

(6) 蝙蝠役はそれらの音を頼りに*虫役に触れる。

*虫役は蝙蝠役から逃げるため円を保持して、円上を横方向に自由に動く事ができる。

(7) 触れられた虫役が今度は蝙蝠役となる。



3. カメラとカメラマン（視覚と記憶力）共同作業、信頼、関心

カメラ役とカメラマン役となり、記憶力の向上と共同作業の実施。

(1) 2人一組になる。

(2) 一人は目をつむる（カメラ役）。

(3) もう一人が目をつむっている人を誘導（カメラマン役）し、取りたい被写体の前でカメラ役の顔を固定し、肩や頭をタッチし*目を開けさせる。

*カメラマンは合図した場所を覚えておく。

(4) (3) を数回繰り返し（2～4回位）、終了後その場所をカメラ役がカメラマン役と一緒に探しに行く。



4. 森の作品展（想像力とリーダーシップ）

森にある物を使い、自由な発想で他の人と共力して一つの作品を作る。

- (1) 8人位でグループを作る。
- (2) その中で2人のペアを作る。
- (3) シーツの様な物を*一枚広げる。

*これが作品の展示場所になる。

- (4) 森の中で一人3つの物を持って来る。(ペアで6つ)
- (5) シーツの上に8人協力し持ってきた物で*作品を作る。

*年齢によってテーマを変える。(例：春夏秋冬、シカ、数字、記号等)

- (6) 作品ができればタイトルを付ける。しかし、他のグループには教えない。
- (7) 他のグループの人にタイトルを当ててもらおう。



5. ポストカード作り（創造性、芸術性）

ポストカードのキットを使いポストカードを作る。

（1）森の中で好きな物（挟める程度の厚さの物）を拾ってくる。

（2）ポストカードキットに挟む。



6. ロープで遊ぶ（図形の把握、角度による数学的要素）

ロープを使った形や色の認識を行う。

- (1) ロープで地面に○、△、□等の図形を複数ずつ作る。
- (2) その形の中に1人ずつ入る。
- (3) 指揮者が*掛け声をかけ、その対象者のみ別の空いた場所に入れ替わる。（もちろん全部も有）

*例：○、△、□の他にも 90° のある図形、 60° のある図形、ロープの色を変えて色の指定等



7. 形を探す（想像力、好奇心の向上）

アウトドアにある色々な形の認識。

- (1) ロープで地面に○、△、□等の図形を作る。
- (2) それぞれのグループに分かれる。
- (3) 同じ形の物を虫めがねを使い森の中で探す。



8. 世界一周（位置関係を体で学ぶ。共同作業）

ボールを使い、上、中、下など位置関係の把握を行い、共同で実施することによる協調性の向上。

- (1) 全体で大きな円になる。
- (2) 指導者も同じく円に入る。
- (3) 指導者からボールを横に回していく。
- (4) 指導者は頭の上、お腹、膝とボールを回す高さを変える。
- (5) 他の人は指定された高さでボールを回す。
- (6) ボールの数を増やしていく。(人数により4個程度)
- (7) 指導者が「世界一周」と言い、言われたときにボールを持っていた者が、ボールを持ったまま外周を一周する。

